

フェアプレイ
インタビュー
「バドミントン」
山口茜選手

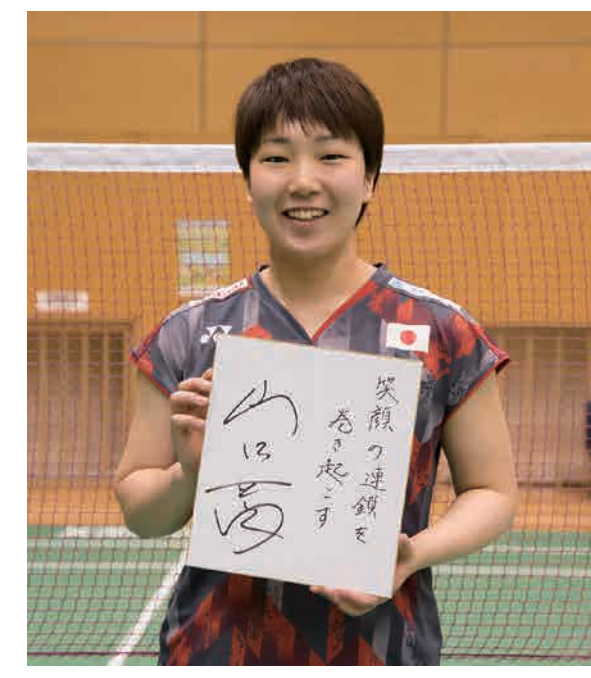


プロフィール
生年月日: 1997年6月6日
出身地: 福井県 勝山市
趣味: 漫画を読むこと
勝山市 市民栄誉賞受賞
**女子シングルス
世界ランキング
1位を獲得**

笑顔の連鎖を巻き起こす
起点になりたい

地元の応援が強さの源

山口茜選手は5歳から競技をスタートしました。バドミントンが盛んな福井県勝山市で生まれ育ち、常にレベルが高い選手が近くにいる環境で技術を磨いてきました。
地元の仲間と切磋琢磨しながら、2016年には19歳でリオデジャネイロオリンピックに出場し、今年日本文選手として初めて、女子シングルスの世界ランキングで1位になりました。



ました。世界の頂点で活躍する山口選手は、地元からの応援が大きな力になっていると言います。「地域一体

となつて応援してくれるので、いつも感謝しています。正々堂々とフェアプレー精神を大切にして戦うことで、私のプレーを見た人に笑顔が広がっていくと嬉しいです」
また、今年9月には福井しあわせ元気国体が開催されます。「地元で試合を見せられる機会は少ないので、出場したいです。頑張っている姿を見てもらって、いつも応援してくれているみんなに恩返ししたいです」と笑顔を見せました。

1球1球に意味を込めて

バドミントンの魅力について「私のように体格が小柄な選手でも、戦略次第で大柄な選手と戦うことができる」と教えてくれました。
「私の強みは、粘り強さと相手の意表をつくプレーです。いかに相手のペースを崩して自分のチャンスを広げていくかを考え、1球1球に意味を込めて打っています」

工夫を楽しもう

小・中学生のみなさんへは「好きなことや、打ち込みたいことがあれば、自分でどうしたらもっと良くなるか考えてみてください。工夫を楽しむことで成長のスピードが速くなります」

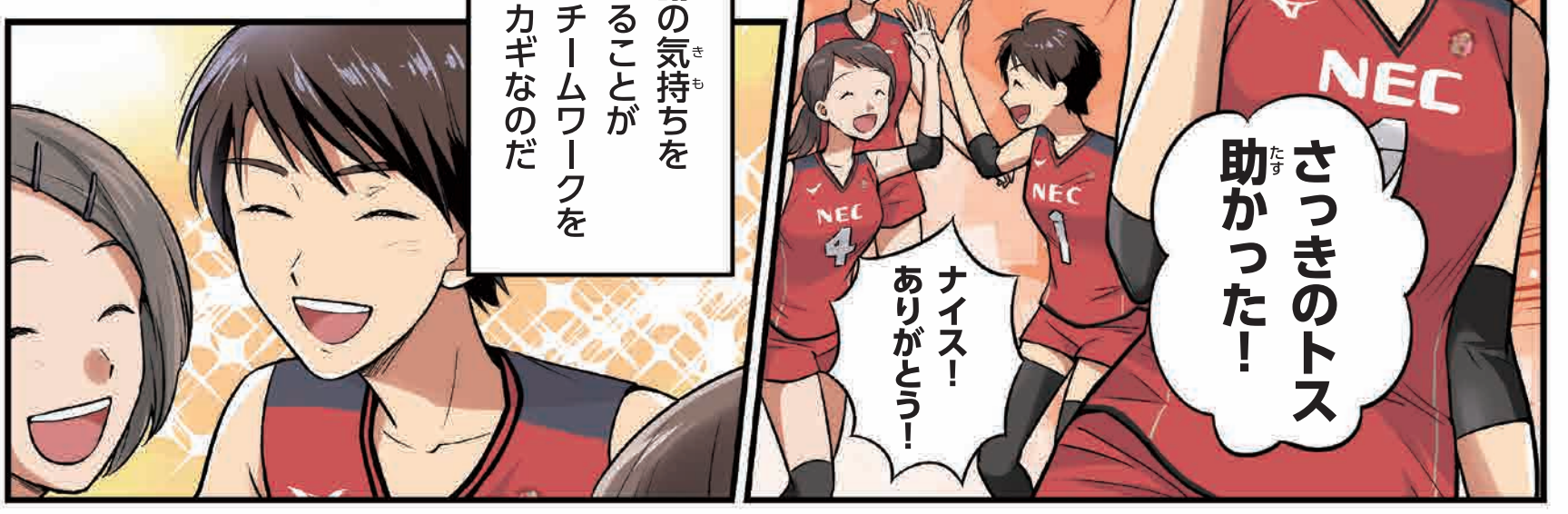
山口茜選手の
最速スマッシュ
をチェック!

相手コートに強く打ち込むスマッシュ。
シャトルの初速はなんと時速350km以上!
新幹線(時速320km)より速い!



ます。また勉強など、やるべきことをしっかりとこなすことで、好きなことにも生きてくる部分があるはずですよ」と自身の経験を踏まえてメッセージを送ってくれました。

FAIRPLAY STORY
フェアプレイストーリー
伝える感謝、深まる絆
NECレッドロケッツ
島村春世選手



バレーボール
女子日本代表の
島村春世選手は
「感謝を伝えることを
常に心掛けている」

高校時代の
島村選手は
勝ちたい
気持ちで勝利
チームメイトに
掛ける言葉が
つい厳しくなっ
てしまいがちだ
った

そんな発言が
チーム内を
良くない雰囲気
にしてしまうこと
もあった

しかし
現在の所属チームである
NECレッドロケッツに
入団すると

なんで
回して
くれないの
フォロワー
ありがとう!

先輩たちは
チームメイトへの
感謝を
プレー中も言葉にして
伝え合っていた

感謝を伝えると
こんな良い
雰囲気プレーが
できるんだ!

今では
NECレッドロケッツの
伝統を受け継いだ
島村選手が
積極的にチームメイトに
感謝を伝えている

さっきのトス
助かった!

張り切って
いこう!

感謝の気持ちを
伝えることが
良いチームワークを
生む力なのだ